



ちょうちん

ろうそくをともす^あ明^{どう}かり^ぐの^も道具^{ある}。持^{あし}ち歩いて足もとをてらすのに、べんりだった。
いまでも、お祭り^{まつ}で^{つか}使^{つか}われていることがある。



あんどん

なたね^{あぶら}油^{つか}を使った^あ明^{どう}かり^ぐの道具^{あぶら}。おさらに^ひ油^ひをいれ、「とうしん（灯心）」に火をともし。
おもに^{なか}へや^しの中で、ゆか^{しょう}において^{つか}使用^{つか}された。ランプ^{つか}が使^{つか}われるようになり、使^{つか}われなくなった。

めい じ
明治

たい しょう
大正

しょう わ ぜん き
昭和前期



ランプ

とう油を使った明かりの道具。海外から入ってきたもの。日本のたたみの部屋に合わせて、
だい台をそなえたものもある。あんどんよりあかも明るい。

めいじ
明治

たいしょう
大正

しょうわ ぜんき
昭和前期

しょうわ こうき
昭和後期



でん でん 電きゅうと電きゅうがさ

でんりよく あか ひ つか か じ しんぱい
電力をりようした明かり。ランプよりもはるかに明るくなった。火を使わないため、火事の心配も
でん き つか どう ぐ なか あ はや いえ つか
なかった。電氣を使う道具の中で、明かりはいちばん早く家で使われはじめた。

しょうわ ぜんき
昭和前期

しょうわ こうき
昭和後期

へいせい
平成



けいこうとう

でんりよく
電力をりようした^あ明かり。^へ部屋^やのすみずみまで、てらすことができる。さいきんまで、もっとも
^{つか}よく使われていた。いまでは、^{つか}使う^{でんりよく}電力がより少ない^{すく}LEDライトにかわってきている。^{エルイーディー}



エルイーディー
いま:LEDライト

つか でんりよく すく あか いえ あ つか
けいこうとうより使う電力が少なく、明るい。いまの家の明かりに使われている。